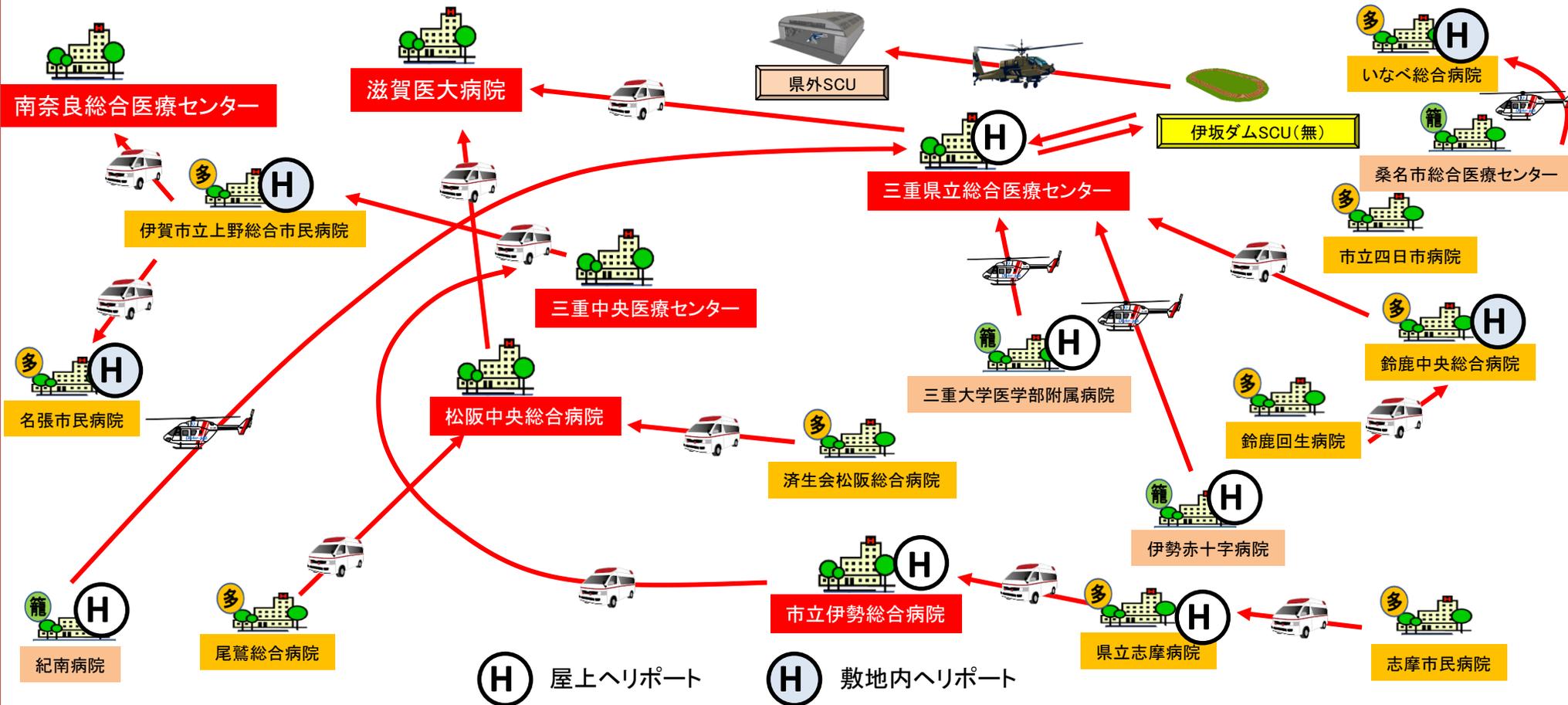


- 日時：令和4年10月1日（土）
- 場所：三重県松阪庁舎、県内災害拠点病院及び一般病院、伊坂ダム
- 訓練想定：過去最大クラスの南海トラフ地震（県内最大震度6弱～7）
令和4年9月30日（金） 11時発災
- 訓練概要：DMAT活動訓練
DPAT活動訓練
災害時小児周産期リエゾン訓練
- 訓練参加機関：三重県内各医療機関、陸上自衛隊、消防本部
県内DMAT 16病院 127名
（県外DMATを含め約70チームが参加）
県内DPAT 3病院 20名
小児周産期リエゾン 16名



大規模地震時医療活動訓練概要

搬送調整



大規模地震時医療活動訓練概要

検証結果（課題）

- ・ 本部運営のできる県内DMA Tの養成
- ・ 通信環境の整備
- ・ 県内サージキャパシティの確保
- ・ 県外への搬送ルートと受け入れ先の確保
- ・ 院内災害対策本部とDMA T支援指揮所の連携
- ・ DMA TとDPATの情報共有、連携
- ・ 地域における小児周産期リエゾンの養成

